学校番号	3033

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)数学演習Ｌ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新課程　数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	参考書「新課程　教科書傍用　４ＳＴＥＰ　数学Ｃ」（数研出版） 教科書傍用「新課程　チャート式　基礎からの数学Ｃ」　（数研出版） 問題集「改訂版　メジアン数学演習ⅠⅡＡＢＣ受験編」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学の学習の定着には、定義の確たる理解が最も重要なのはいうまでもありませんが、その深い内容まで時間をかけて学び、思考し、時間をかけて問題に取り組むことが大切です。選択いただいたみなさんには、2 次曲線、複素数平面という数学的にも興味深い、広がりを持った分野を中心に、この授業でそのような時間を確保していただきたいと思います。当然のことながら授業については相当に高度な内容まで含みますので、授業をしっかりとフォローすることにより、難関大学の入試にも十分に対応できます。昨年度に引き続き、復習の時間をしっかりと確保してください。また、学習の方法に悩んだときは「合格者の手引」に立ち戻り、自身の学習について見つめなおしてみてください。

その後は入試問題集を使用し、複雑な問題に相対することで数学の学習の定着をめざします。こちらは入試問題を扱いますので、行き詰ることが多いかもしれません。そこで大切にしていただきたいのは、これまで培ってきた基礎部分にいつでも立ち戻ることです。理解が足りないと感じたとき、論理についていけないことがあったとき、必ず過去の学習内容に立ち戻り、時間をかけて再度理解を深めてください。本授業がみなさんの数学の営みを深めるものとなることを期待します。

2　学習の到達目標

2 次曲線、複素数平面を中心とした分野の学習および、種々の入試問題演習を通して以下の資質・能力を身につける。

【知識及び技能】

a:基礎的な知識の確固たる定着と，知識を発展的内容につなげる技能の習熟。

【思考力、判断力、表現力等】

b:数学的に抽象化された事象を考察し，自在に表現する能力。

【学びに向かう力、人間性等】

c:数学的対象に興味関心をもち、自らの力によって積極的に活用する態度。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	2 次曲線･複素数平面を中心にした分野について、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	2 次曲線・複素数平面を中心にした分野について、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	2 次曲線・複素数平面を中心にした分野について、その考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期 前期第2中間   <